

# 陳 情 文 書 表

## 陳情第 2 号

- |   |           |   |
|---|-----------|---|
| 1 | 受 理 年 月 日 | 令和 2 年 3 月 3 日  |
| 2 | 件 名       | 長沼高校の人材支援に関する陳情                                       |
| 3 | 要 旨       | 別紙のとおり  |
| 4 | 陳情者住所氏名   | 長沼町旭町南 2 丁目 1 1 番 1 号<br>北海道長沼高等学校同窓会<br>会長 漆 原 衛 外 1 |

令和 2 年 3 月 1 7 日提出

長沼町議会議長 平 井 儀 一

## 要旨

謹んで北海道長沼高等学校における教育活動の充実・発展に広く本町の関係各位の温かいご指導とご支援に特段の御高配を賜りますよう陳情申し上げます。

ご承知のとおり長沼高校は平成30年度より学級減が続いており、生徒数の減少とともに教職員数も大幅に減少する中であって、私も学校関係者は「教育の質」の低下を懸念しているところであります。さらに学習指導要領の改訂に伴い、高等学校には社会に開かれた教育課程の実現や、地域の未来を担う人材育成がより一層求められる状況にあります。

特に、地域を担う人材育成には、子どもたちが発達段階に応じて地域理解を深めるための学習を積み重ねること、さらに町内の小学校、中学校、高等学校がそれぞれ一校となることから小中高の連携強化を期待しているところであります。地域連携や小中高連携は、上級学校へ進学した子どもたちが卒業後に再び地元に戻ってくるという意識付けも含め、郷土愛を育む教育を推進するための極めて有効な方策であり、ここに「地域の子どもは地域で育てる」という視点を改めて確認することが大切であると考えます。

道立高校であります長沼高校の教職員数が削減されるという厳しい状況にあって、地域連携や小中高連携を推進するために、これまで同様温かいご支援をお願い申し上げますとともに、次のとおり人材支援につきましても、長沼町の温かいご支援を切望する次第であります。

地域学習を推進するためには、地元根付き地域の事情や人脈に精通した人材が必要であります。出前講座や現地学習などに欠かせない地域の方々を発掘し、日程調整する手続き、さらに学習計画の立案、授業のサポート等の業務を担当することになりますが、そのようなコーディネーター的な存在が授業の質や教育効果を高めると伺っております。

長沼高校においては、その役割を実習助手が務める予定でしたが、次年度以降は間口減の影響で実習助手も配置されず、地域学習や連携学習の推進に支障をきたすとのことです。

是非、町職員の出向等も含め、長沼高校への人材支援につきまして、特段のご配慮を賜りたくここに謹んで陳情申し上げます。